

たいいよう

NPO静岡県青年団連絡協議会

組織部

2012年
9月号

つながれば無限大 ☆輝ける場所がここにある☆

第61回全国青年大会出場の切符をかけて、7月21日から体育部門を皮切りに始まった第58回静岡県青年祭は、9月16日に開催した文化芸能部門、そして9月30日に開催する運動会をもって幕を閉じます。体育部門では、バスケットボールを筆頭に、ボウリング、フットサル、バレーボール、バドミントン競技に県下各地から多くの仲間が集い、大会を大いに盛り上げました。

文化芸能部門では、開催地である島田市川根町の皆様に来場していただけるよう、大抽選会や花の苗プレゼントを実施しました。島田市内の高校生に出演していただき、書道や太鼓演奏の力強いパフォーマンスを披露していただきました。他にもカラオケのど自慢、バンド演奏、ダンス披露、スライドを用いた活動発表など、出演者は様々なフィールドで日頃の成果を発揮し、とても輝いていました。また、展示ブースでは写真・書・教宣物の他に、バルーンアートを実施し、子どもたちにも楽しんでもらえました。

全国青年大会は11月に行われますが、選手一同、最高のパフォーマンスをしてきますので、応援よろしくをお願いします。

第58回静岡県青年祭大会委員長 中本将之



全国青年大会出場競技（者・チーム）紹介

【体育部門】

男子バレーボール：小笠排球会、(有)マルリ 女子バレーボール：富士サイプレス
男子ボウリング個人戦：FriendshipしずおかA、FriendshipしずおかB
女子ボウリング個人戦：FriendshipしずおかC、FriendshipしずおかD
ボウリング団体戦：挑戦者、有度DeNAぴっかーず 軟式野球：NYC 剣道：風の会
卓球：磐田地区BBS会 フットサル：F.C.K.B バスケットボール：VERKEY、MASK

【文化芸能部門】

舞台パフォーマンス：ざはい&ちーぶ カラオケのど自慢：田中信裕、河村安浩
写真展：江塚彩子、大畑聡子、島田市青年サークル

全国で、オレンジ旋風巻き起こせ!!

清水 Friendship

平成24年8月13日(月)～18日(土)までの5日間、第7回目となるFriendshipしずおかの本研修として沖縄県本島・鹿児島県与論島に行きました。

今回はメインテーマを「挑戦者」とし、役員をはじめ、研修生にも常に挑戦する気持ちの大切さを伝えていきました。



挑戦することで、自分を支え、理解してくれている人の存在に気付き、改めて、自分らしく行動することに自信がついたこと、仲間への感謝の気持ちを確かめることができました。



また、過去に自分が挑戦した経験ひとつひとつが自らの糧となり、全て自己成長につながっているということ仲間とともに共感することで、今後の人生において、挑戦することに前向きになれました。これからの研修生たちの成長に期待しています。

静岡市清水青年団連絡協議会副会長
兼 Friendship しずおか運営委員長 社本圭一朗

島田 稲作事業

9月22日(土)に『稲刈り』を行いました。当日は天候に恵まれ、絶好の稲刈り日和でした。参加者は子どもから大人まで合わせて50名で、一緒に楽しみながら行いました。子どもたちには少し難しい作業が多く、使い慣れない鎌と格闘し、想像以上に重たい稲穂に戸惑っていましたが、全て刈り終えた田んぼを見渡し、達成感に浸っていました。

今回行なった『稲刈り』は、稲作事業の一つで、田植え・稲刈り・収穫祭の三部構成です。稲作事業は島田市金谷公民館主催の「元気キッズわくわくクラブ」の1講座として開催しています。私たち島田市青年サークルのメンバーが講師となり、園児や小学生を対象に、お米の大切さや作ることの難しさなど、しょくいく(植育・食育)教育を目的に実施しています。みんなで植えて、刈って、食すと言った流れで、植に始まり食に終わる事業になっています。



去る6月9日(土)には約30名で『田植え』を行いました。強い日差しの中、子どもたちと一緒に泥だらけになりながら、植えました。

11月4日(日)は、待ちに待った収穫祭です。子どもたちだけでなく、参加したみなさんにお米の大切さを知ってもらい、自分で作物を作る体験から自然環境について考えるきっかけにしていきたいです。

島田市青年サークル 副会長 藤井 隆一

青年問題研究集会ってなんだろう？

青年問題研究集会(通称KATARI場)は、日常生活の中で疑問や不安に思うことなどをレポートを書くことで1年を振り返り、仲間と共に語り合うことにより、解決の糸口を見つけ、次へのステップを踏みだせるきっかけとなる事業です。

当日はいくつかのグループに分かれて、自分のことを言うだけでなく、仲間の意見を聞いたり、自分なりに仲間へアドバイスする中で気持ちが整理され、物事を様々な角度から見ることの大切さに気付くことができます。



この事業に参加すると、

- 1、流れ忘れてしまう日々の感情や思いなどを自分でレポートにまとめることで、一年の振り返りができます。
- 2、日頃自分が思っていることや、心の中にある悩み、仲間の思いを聴き、一人では解決できないことを仲間聞いてもらい、様々な考えに触れることで視野の拡大に繋がり、仲間と共に語り合うことの大切さに気付けます。
- 3、グループでの語り合いの中で、仲間と思いきり笑い、共通点を見つけるなど、共に生活をする中で、親密さうまれ、新たな仲間ができます。

このように、様々な良さがある青年問題研究集会に参加して、みんなで楽しみながら学びましょう。

平成25年1月19日(土)～1月20日(日)の2日間開催予定

組織部

NPO 静岡県青年団連絡協議会機関紙

たいよう 第56巻-3 平成24年9月30日発行

発行責任者 草野心路 編集・発行 組織部

〒420-0068 静岡市葵区田町1-70-1

TEL 054-254-2006 E-mail kendan@youthnet.or.jp

FAX 054-253-4650 <http://www.youthnet.or.jp/seinen/>

編集後記

秋も深まる中、青年祭静岡県予選も終わり、年度の半ばを迎えます。運動の秋、文化の秋にふさわしく11月には全国青年大会があります。冬には青年問題研究集会もあり、事業が盛りだくさんです。季節の変わり目になりますので、体調を崩さないようにしましょう。